

Testata: SENKEN SHIMBUN

Periodicità: quotidiano

Settore: Fashion in generale

Uscita: 29/09/2017

Argomento: FILO – fiera di filati a Milano

Vivacità dovuta all'aumento sia di partecipanti che di visitatori

Per Primavera-Estate del 2019 sono la tendenza è ancora più fancy

ミラノの糸見本市フィーロ

出展、来場増え活気



「ミラノ」橋口脩佳「ミラノ」で27、28日、糸の総合展「F.L.O（フィーロ）」が開かれた。テキスタイルより一足早く、19年春夏向けの織物と丸編み向けの糸が提案された。

今回で48回目。会場は「針と糸と結び目」のオブジェがあるカドルナ駅近く、修道院を改装したパラッツォ・デッレ・ステ

19年春夏はさらにフアンシー

ブースではたくさんのサンプル糸を前に熱心に話し込む様子が見られた。

今秋、前年9月展より11%多い93の出展者が集まった。伊が70%を占め、海外はスペイン、ポルトガル、トルコ、独、オーストリア、スイス、中国、日本、日本は、旭化成が初出展。責任ある製品を支援する国際的なプラットフォーム「A.S.S」の一員として、スペインデックス・ロイヤル・エゴスマート」などを訴求した。

会場内は、機屋やニッター、商社などさまざまあり、「回復傾向にある」（イタルフィル）、「全体的に良好」（ゼニア・バルツァン）な伊糸の商況を印象付けた。カルロ・ピアツェンツァ（エラ工業会会長）は初日に「商品のクオリティが向上していると感じる。今の時点で来場者も前年より多い」と好調な滑り出しを強調した。

18〜19年秋冬のファッションテキスタイルに見られたボジティブでエネルギーなムードが、19年春夏にも引き継がれそうだ。フアンシーヤンを手掛ける企業が元気だ。

フアンシーヤン企画師のデヴィアは、19年春夏に向けたコレクションを、カラフルなスーパーフアンシー」と表現した。普段はバスチルカラーが基調だが、鮮やかなグリーンやイエロー、オレンジ、フューシャピンクと彩度をぐっと引き上げた。

「クラシックなヤーンメーカーもフアンシーに回っているから、当社は極端なフアンシーに走った」と提案したのは、弾けるようなオレンジの糸糸と3色のフラッグヤーンとラメ糸を巻き付けたもの。3D効果を狙った。

ヴィマルーの91は、織物のフアンシーヤンに特化した工場。「極端なフアンシー」は、どこでもポイントとされ、3

幅の不織布を使った1日でも作れないテープヤーンにコーティングしたり、ラメ糸をからませたりしたものなど、手込んだ糸を出した。直接の顧客はテキスタイルメーカーだが、デザインは採用されるブランドの製品からイメージするところ。その企画精度の高さで、ラグジュアリーブランドのコレクションに毎シーズン使用されている。

SENKEN

2017年
(平成29年)

9月29日
金曜日

織研新聞社

発行所
〒103-0015 東京都中央区
日本橋箱崎町31-4

